

# 施策評価シート（令和元年度～4年度）

分野	4 文化・スポーツ
----	-----------

評価責任者	所属	市民局 生涯学習推進課
	氏名	課長 島田 裕介

政策	4 生涯にわたる学びを支援しまちづくりに関わる人材の養成を推進します
----	------------------------------------

施策	1 市民ニーズに合わせた学習機会の充実
----	---------------------

施策の目的	市と大学等との連携により市民の多様なニーズに応える学習機会を提供していきます。
-------	---

## (1) 総合評価

総合評価	令和元年度	<b>A：施策の目的が達成されている。</b>	理由	成果指標である講座参加者満足度は83.5%と目標を下回ったが、大学公開講座の共催では大学等との連携により市民の多様なニーズに応える学習機会を提供できた。以上のことから評価をAとした。
	令和2年度	<b>A：施策の目的が達成されている。</b>	理由	成果指標である講座参加者満足度は86.1%と目標を上回り、大学公開講座の共催では大学等との連携により市民の多様なニーズに応える学習機会を提供できた。以上のことから評価をAとした。
	令和3年度	<b>A：施策の目的が達成されている。</b>	理由	成果指標である「講座参加者満足度」は82.7%（達成率97.3%）と目標を下回ったが、大学共催公開講座の開催数、延参加者数ともに十分な成果があり、大学等との連携による市民の多様なニーズに応える学習機会の提供を実施できたと考えられることから総合評価をAとした。
	令和4年度	<b>A：施策の目的が達成されている。</b>	理由	成果指標である「講座参加者満足度」は86.0%（達成率101.2%）と目標を上回り、大学共催公開講座の開催数、延参加者数ともに十分な成果があり、大学等との連携による市民の多様なニーズに応える学習機会の提供を実施できたと考えられることから総合評価をAとした。

※【評価基準】 S：施策の目的が十分に達成されている。A：施策の目的が達成されている。B：施策の目的があまり達成されていない。C：施策の目的が達成されていない。－：評価できない。  
 ※総合評価は、原則、指標の達成状況（達成率）に基づき判断する。ただし、指標の分析結果や指標以外の成果等により、指標の達成状況（達成率）と異なる評価とする場合は、その理由を必ず記載すること。

## (2) 成果指標

成果指標	指標名	現状値	年度	目標値	実績値	達成率（%）	評価	目標値の算出根拠
			1	85.0%	83.5%	98.2%	a	
講座参加者満足度	85.5% (2015～2017)	2	85.0%	86.1%	101.2%	a		
		3	85.0%	82.7%	97.3%	a		
		4	85.0%	86.0%	101.2%	a		
		1						
		2						
		3						
		4						
		1						
		2						
		3						
		4						
		1						
指標成果以外の	市内大学と生涯学習施設を所管する指定管理者との連携が進み、大学と生涯学習施設との共催公開講座数については、令和4年度の開催数は22回、参加者数は延べ377人となり、市民に身近な生涯学習施設において高度で専門的な学習を求める市民ニーズに対応した事業を実施できた。 また、市と6大学（R4から静岡理科大学が追加）との連携事業である「市民大学リレー講座」は、多様な学習機会の提供を目的とし、対面とオンライン配信によるハイブリッド方式で開催し、延べ205人が参加した。連携事業の実施を通じて、市と大学の生涯学習に対する取組への理解が相互に深まっている。							

※【評価基準】 s：105%以上、a：95%以上105%未満、b：85%以上95%未満、c：70%以上85%未満、d：70%未満

(3) 施策を構成する主要事業

主要事業名	主な活動内容	優先順位	年度	現計予算額	前年度からの繰越額	決算額	人工			達成状況
							正規	非常勤	臨時	
大学連携事業の推進	生涯学習施設等における大学との連携による高度で専門的な学習機会の提供 ①市民大学リレー講座（6回 延参加者数205人） ②生涯学習施設・大学共催公開講座（22回 延参加者数377人） ③静岡市・大学連携生涯学習会議の開催（2回）	1	1	412	0	263	0.3	0.2	0.0	○
			2	313	0	263	0.6		0.3	
			3	290	0	274	0.7		0.3	
			4	290	0	274	0.5		0.3	
			1							
			2							
			3							
			4							
			1							
			2							
			3							
			4							
			1							
			2							
			3							
			4							

※主要事業の優先順位は、各施策の目的や指標を達成する上で、重要度、貢献度などの観点から高いものから順位とする。

※達成状況の凡例（◎：計画より進んでいる、○：計画どおり進んでいる、△：計画より遅れている、－：計画実施時期が到来していない、新型コロナウイルス感染症の影響により実施できなかった）

(4) 今後の取組や方向性

本施策は総合評価欄のとおり期待どおりの成果をあげることができており、今後も大学等との連携を継続して市民の多様なニーズに応える学習機会を提供していく必要がある。このため、第3次静岡市生涯学習推進大綱に高等教育機関との生涯学習推進体制の充実を位置づけ、連携を通じて魅力的で市民に求められている多様な学習機会の提供に取り組んでいく。

# 施策評価シート（令和元年度～4年度）

分野	4 文化・スポーツ
----	-----------

評価 責任 者	所属	市民局 生涯学習推進課
	氏名	課長 島田 裕介

政策	4 生涯にわたる学びを支援しまちづくりに関わる人材の養成を推進します
----	------------------------------------

施策	2 未来を創る人材の養成
----	--------------

施策の 目的	人口減少や少子高齢化の進展により、市民主体のまちづくりの重要性はより高まると同時に、地域活動の担い手が不足している状況は今後さらに深刻化することが見込まれます。そこで市民と行政との協働によるまちづくりを担うシチズンシップに富んだ人材の養成を行います。
-----------	---

## (1) 総合評価

総合 評価	令和元 年度	<b>A：施策の目的が達成されている。</b>	理由	「地域や社会のために行動した人（H30修了生）」の割合は目標を下回ったものの、地域コミュニティにおける「担い手不足」という大きな課題に対して、住民の負担を軽減するために行動を起こす修了生を輩出した。
	令和2 年度	<b>A：施策の目的が達成されている。</b>	理由	「地域や社会のために行動した人（R1修了生）」の割合は目標を上回ったものの、新型コロナウイルス感染症の影響等によって当初の計画どおり活動に取り組むことができなかった修了生もいることから、総合評価は「A」とした。
	令和3 年度	<b>A：施策の目的が達成されている。</b>	理由	成果指標である「地域や社会のために行動した人（R2修了生）」の割合は100%（達成率115.6%）と目標を大幅に上回ったものの、新型コロナウイルス感染症の影響等によって受講生が定員より少なかったことから総合評価をAとした。
	令和4 年度	<b>A：施策の目的が達成されている。</b>	理由	成果指標である「地域や社会のために行動した人（R3修了生）」の割合は100%（達成率114.9%）と目標を大幅に上回ったものの、受講生が定員より少なかったことから総合評価をAとした。

※【評価基準】 S：施策の目的が十分に達成されている。A：施策の目的が達成されている。B：施策の目的があまり達成されていない。C：施策の目的が達成されていない。－：評価できない。  
 ※総合評価は、原則、指標の達成状況（達成率）に基づき判断する。ただし、指標の分析結果や指標以外の成果等により、指標の達成状況（達成率）と異なる評価とする場合は、その理由を必ず記載すること。

## (2) 成果指標

成果 指標	指標名	現状値	年度	目標値	実績値	達成率（%）	評価	目標値の算出根拠
	地域や社会のために行動した人の割合 【人材養成塾（地域リーダー養成コース）】	83.3% (2017)	1	85.5%	70.0%	81.9%	b	
2			86.0%	100.0%	116.3%	s		
3			86.5%	100.0%	115.6%	s		
4			87.0%	100.0%	114.9%	s		
指標 成果 以外の	令和4年度は、「地域デザインカレッジ2022」を自治会・町内会編として自治会・町内会の会長・役員等を対象に開催し、「基礎講座」では18人、「実践講座」では10人の参加があった。修了生は、「自治会活動の効率化」をテーマに自治会行事や事務のデータ化や見える化を行ったり、自治会役員の負担軽減に向けた「役員のスムーズな選出」に向けた改革をするなど、活動を実践している。「高校生まちづくりスクール（ビジネス編）」は定員25人のところ受講が16人と定員を割ってしまったが16人全員が修了し、地域に目を向ける機会の少ない高校生の地域や社会のために行動していきたいという意識を醸成するとともに、起業にチャレンジしようとする修了生を輩出するなど効果的な講座を実施することができた。	1				－		
		2				－		
		3				－		
		4				－		

※【評価基準】 s：105%以上、a：95%以上105%未満、b：85%以上95%未満、c：70%以上85%未満、d：70%未満

(3) 施策を構成する主要事業

主要事業名	主な活動内容	優先順位	年度	現計予算額	前年度からの繰越額	決算額	人工			達成状況
							正規	非常勤	臨時	
人材養成塾（地域リーダー養成コース）	地域やまちづくりを担う人材を養成する講座の開催 ①静岡市人材養成塾「地域デザインカレッジ」の開催 基礎講座1回 参加者数18人 実践講座4回 修了生数10人	1	1	4,842	0	3,903	1.5		0.2	○
			2	4,956	0	1,615	1.5	0.3		
			3	4,863	0	1,818	1.5	0.3		
			4	4,354	0	2,412	1.5	0.3		
人材養成塾（高校生地域人材養成コース）	高校生の地域社会への参加を促し、これからのまちづくりの担い手として育成する講座の開催 ①高校生まちづくりスクール（ビジネス編） 講座回数5回 修了生数16人	2	1	782	0	705	0.5		0.2	○
			2	1,299	0	1,063	0.8	0.3		
			3	1,305	0	1,216	0.8	0.3		
			4	1,358	0	1,187	1.0	0.2		
			1							
			2							
			3							
			4							
			1							
			2							
			3							
			4							

※主要事業の優先順位は、各施策の目的や指標を達成する上で、重要度、貢献度などの観点から高いものから順位とする。

※達成状況の凡例（◎：計画より進んでいる、○：計画どおり進んでいる、△：計画より遅れている、－：計画上実施時期が到来していない、新型コロナウイルス感染症の影響により実施できなかった）

(4) 今後の取組や方向性

本施策は総合評価欄のとおり期待どおりの成果をあげることができており、今後も市民と行政との協働によるまちづくりを担うシチズンシップに富んだ人材の養成をしていく必要がある。このため、第4次静岡市総合計画の⑤文化・スポーツ分野政策4「生涯にわたる学びを支援し、まちづくりに関わる人材を養成します」に位置づけられている「静岡シチズンカレッジ こ・こ・に」に今後も継続して両事業を登載し、まちづくりを担うシチズンシップに富んだ人材の養成に取り組んでいく。

# 施策評価シート（令和元年度～4年度）

分野	4 文化・スポーツ
----	-----------

評価 責任 者	所属	市民局 生涯学習推進課
	氏名	課長 島田 裕介

政策	4 生涯にわたる学びを支援しまちづくりに関わる人材の養成を推進します
----	------------------------------------

施策	3 生涯学習に親しむ環境整備
----	----------------

施策の 目的	静岡市生涯学習施設の配置適正化方針に基づき、生涯学習施設がより一層充実した地域の生涯学習活動やまちづくり活動の拠点となるよう、老朽化し耐震性の劣る施設について、市民参画により地域の意見が反映された施設整備計画を策定し、市民が安全・安心・快適に利用できる施設として整備する。
-----------	--

## (1) 総合評価

総合 評価	令和元 年度	<b>A：施策の目的が達成されている。</b>	理由	耐震性の劣る施設について、計画通り確実に解消することができており、耐震化率も徐々に上がっている。
	令和2 年度	<b>A：施策の目的が達成されている。</b>	理由	耐震性の劣る施設について、計画通り確実に解消することができており、耐震化率も徐々に上がっている。
	令和3 年度	<b>S：施策の目的が十分に達成されてい る。</b>	理由	成果指標である「生涯学習施設の耐震化率」は100%（達成率102.7%）と目標を上回り、さらに1年早く最終目標を達成するとともに、老朽化の進んだ施設の改修や建替えについても計画どおり実施できていることから、総合評価をSとした。
	令和4 年度	<b>A：施策の目的が達成されている。</b>	理由	成果指標である「生涯学習施設の耐震化率」は令和3年度で100%と目標を達成し、老朽化の進んだ施設の改修や建替えについても計画どおり実施できている。

※【評価基準】 S：施策の目的が十分に達成されている。 A：施策の目的が達成されている。 B：施策の目的があまり達成されていない。 C：施策の目的が達成されていない。 -：評価できない。  
※総合評価は、原則、指標の達成状況（達成率）に基づき判断する。ただし、指標の分析結果や指標以外の成果等により、指標の達成状況（達成率）と異なる評価とする場合は、その理由を必ず記載すること。

## (2) 成果指標

成果 指標	指標名	現状値	年度	目標値	実績値	達成率（%）	評価	目標値の算出根拠
			1	87.1%	87.1%	100.0%	a	
生涯学習施設の耐震化率	82% (2018)	2	89.7%	89.7%	100.0%	a		
		3	97.4%	100.0%	102.7%	a		
		4	100.0%	100.0%	100.0%	a		
		1						
		2						
		3						
		4						
		1						
		2						
		3						
		4						
		1						
指 標 以 外 の 成 果			2					
			3					
			4					
			1					

※【評価基準】 s：105%以上、a：95%以上105%未満、b：85%以上95%未満、c：70%以上85%未満、d：70%未満

3次総後期計画では、市民団体等が安全・安心・快適に活動できる施設の整備を目標とし、その成果指標を耐震化率とした。  
また、生涯学習推進計画（後期）の見直しにおいても、生涯学習の基盤整備（環境整備・ハード）施策に係る成果指標を耐震化率としている。

・ 飯田生涯学習交流館の建替え及び折戸生涯学習交流館の耐震改修は、令和3年3月に工事が完了し、折戸生涯学習交流館は令和3年4月に、飯田生涯学習交流館は令和3年7月に供用開始した。  
・ 船越生涯学習交流館の建替えは、令和4年3月に設計業務が完了し、その後、同月に休館及び解体工事に着手し、9月に解体工事が完了した。  
・ 田代生涯学習交流館の解体工事は、令和4年2月に完了した。

(3) 施策を構成する主要事業

主要事業名	主な活動内容	優先順位	年度	現計予算額	前年度からの繰越額	決算額	人工			達成状況
							正規	非常勤	臨時	
飯田生涯学習交流館建設事業	令和3年3月 新施設完成 令和3年6月 利用者用駐車場整備 令和3年4～6月 開館準備（備品納品・引越し等） 令和3年7月 供用開始 令和4年3月 工損調査完了	1	1	165,553	0	36,017	1.5	0.1	0.0	○
			2	245,100	128,172	350,862	1.5		0.1	
			3	15,003	0	12,261	1.6			
			4	—	—	—	—			
折戸生涯学習交流館耐震補強事業	令和3年3月 耐震補強完了 令和3年4月 供用開始	1	1	15,323	0	12,980	0.7	0.0	0.0	○
			2	257,900	0	201,704	0.7		0.0	
			3	—	—	—	—			
			4	—	—	—	—			
船越生涯学習交流館建設事業	令和4年3月 基本・実施設計業務完了 令和4年3月 仮設事務所設置完了 令和4年3月 休館 令和4年3月 交流館解体工事着手	1	1	3,000	0	2,722	0.7	0.0	0.0	○
			2	45,400	0	5,009	0.7		0.0	
			3	13,339	34,540	30,289	1.0			
			4	—	—	—	—			
高部生涯学習交流館建設事業	令和3年 5月 大内新田土地利活用地元説明会 令和3年12月 暫定的耐震改修完了 令和4年 2月 大内新田土地利活用地元説明会	1	1	—	—	—	—	—	—	○
			2	0	0	0	1.0		0.0	
			3	0	0	0	0.5			
			4	—	—	—	—			
辻生涯学習交流館耐震補強事業	令和2年3月 耐震補強完了 令和2年4月 供用開始	1	1	208,500	0	203,314	0.8	0.0	0.0	○
			2	—	—	—	—			
			3	—	—	—	—			
			4	—	—	—	—			

※主要事業の優先順位は、各施策の目的や指標を達成する上で、重要度、貢献度などの観点から高いものから順位とする。

※達成状況の凡例（◎：計画より進んでいる、○：計画どおり進んでいる、△：計画より遅れている、—：計画実施時期が到来していない、新型コロナウイルス感染症の影響により実施できなかった）

(4) 今後の取組や方向性

生涯学習施設の耐震化率については、当初計画よりも早い令和3年度中に終了することができ、目的である「市民が安全・安心・快適に利用できる施設整備」を達成することができた。